

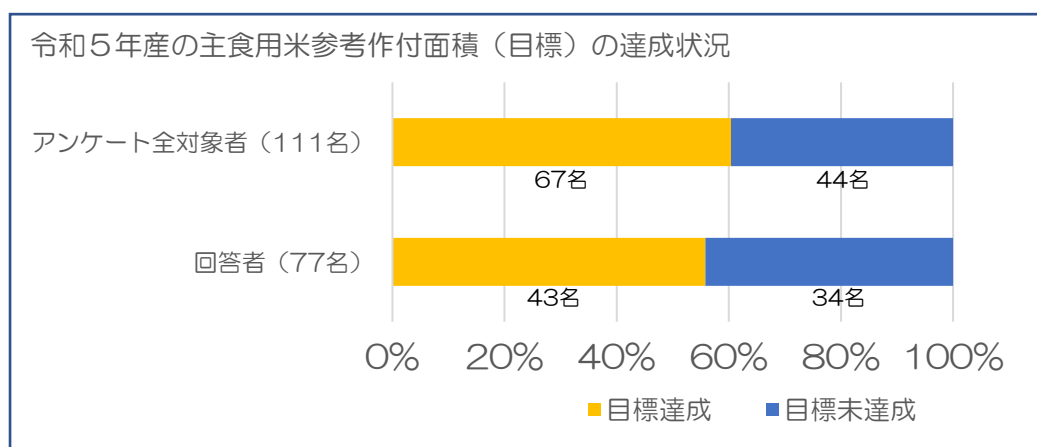
# 水田における令和6年産の作付に関するアンケート(令和5年11月実施)結果報告

令和5年11月、令和6年産の需要に応じた米生産を推進する上で参考にするため、農業者向けにアンケートを実施したので、下記のとおり報告します。

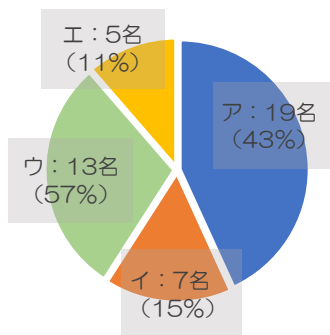
- ①調査内容：令和6年産の作付意向等について
- ②調査対象：阿賀野市内の農業者で耕作面積が10ha以上の者（111名）
- ③調査方法：郵送で配布及び返信回答
- ④調査期間：令和5年11月10日から令和5年12月14日
- ⑤回収率：69.4%（77名）

※1、2における回答数は有効な回答のみを集計しています。また、1つの設問に対して複数回答のあったものは重複して集計しています。そのため、合計が回答者数と一致しない場合があります。

## 1 令和5年産の作付について



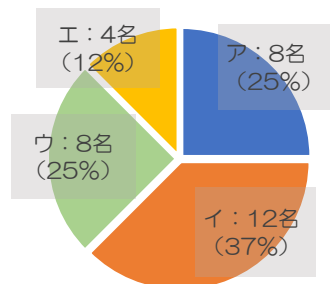
### 令和5年産主食用米の作付が、主食用米参考作付面積（目標）を下回った（達成できた）理由



- ア：需要に応じた米生産を実施するため。
- イ：主食用米よりも、転換作物の作付けに力を入れているため。
- ウ：転換作物の作付けに対する補助金が魅力的なため。

- エ：その他
  - ・基盤整備事業により耕作できる面積が減った
  - ・共同で利用している施設の都合を考慮して。
  - ・コシの払い遅れ防止
  - ・山間地で水不足、大豆を作付
  - ・農業機械の能力に応じて

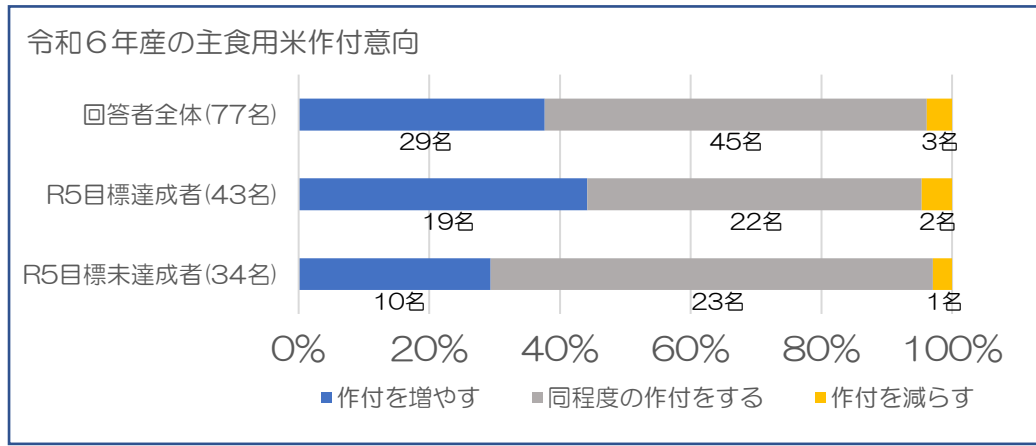
### 令和5年産主食用米の作付が、主食用米参考作付面積（目標）を上回った（達成できなかった）理由



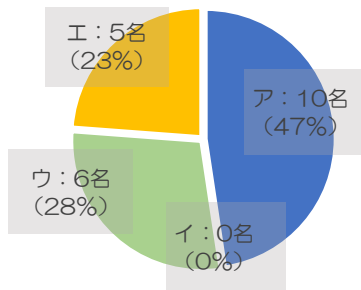
- ア：販売単価が高い主食用米を優先して作付けしたため。
- イ：参考作付面積（数量）はあまり意識していないため。
- ウ：転換作物の作付けに対する補助金の単価が低いため。

- エ：その他
  - ・飼料作物の補助金の仕組が難しくなったため。
  - ・昨年産米の早生品種の作が悪かったので主食用米を増やした
  - ・リノベーション等の補助金が下がったため
  - ・作業工程上
  - ・高温による収入、等級の減収による農業経営の困難

## 2 令和6年産の作付意向について



### ・主食用米の作付を増やす理由 (R5目標達成者)

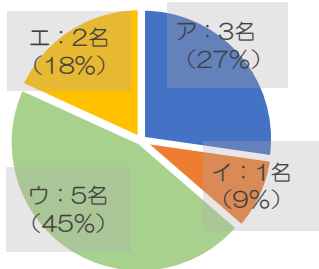


- ア：販売単価が高い主食用米を優先して作付けするため。
- イ：参考作付面積（数量）はあまり意識していないため。
- ウ：転換作物の作付けに対する補助金の単価が低いため。

#### ■ エ：その他

- ・受託面積が増えるのでその分増加
- ・経営面積が増えたので
- ・経営面積が増えたため
- ・基盤整備事業により耕作面積が増える
- ・トラクターを新調した

### ・主食用米の作付を増やす理由 (R5目標未達成者)

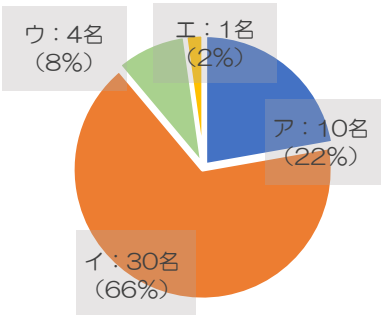


- ア：販売単価が高い主食用米を優先して作付けするため。
- イ：参考作付面積（数量）はあまり意識していないため。
- ウ：転換作物の作付けに対する補助金の単価が低いため。

#### ■ エ：その他

- ・飼料作物の補助金の仕組みが難しいため
- ・他の作物は風害のため安定した収穫が見込めない
- ・加工米の割当てを守るため補助金が安いのが仕方なく
- ・水稻の経費（赤字）を減らすため

### ・転換作物の作付についての次年度の計画を立てる際に最も重視するもの (R5目標達成者)

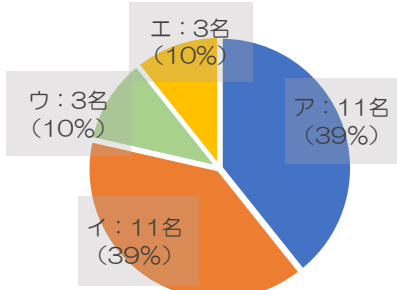


- ア：認定方針作成者（集荷業者）の意見
- イ：転換作物の作付けに対する補助金額とその取組内容
- ウ：参考作付面積

#### ■ エ：その他

- ・作業能力のキャバ

### ・転換作物の作付についての次年度の計画を立てる際に最も重視するもの (R5目標未達成者)



- ア：認定方針作成者（集荷業者）の意見
- イ：転換作物の作付けに対する補助金額とその取組内容
- ウ：参考作付面積

#### ■ エ：その他

- ・酪農家からの需要
- ・作業効率や利益率。なるべく手間を減らしたい。
- ・販売できる（自分で）収穫量

【どのような支援（補助金）があると、主食用米の作付けを減らしたい（転換作物の作付けを増やしたい）と思うか（支援対象作物や、支援内容について）】（1/2）

コシ1反で14千円×8俵=112千円となるため、それより20%くらい収入が増加（販売金+補助金）しそうであれば加工用米を作るのでは？
補助金給付のための条件が難しくなく、牧草地に毎年種をまくことや5年ごとに水稻を植えるなど、現実的に難しい条件をつけないもの。現場の事を思いやる補助金
稲作の他、転作作物があったら指導が欲しい
加工米に対する助成を増額してもらえれば、その分作付を増やせる。
加工用米の補助金を上積みしてもらいたい。麦とお米の二毛作においても麦の補助金がもらえる様にしてもらいたい。
交付金の増額
水稻以外の作物に適した水田があれば
加工米の単価UP。導入に対しての補助金の割合。
補助金が仮渡金と合わせて大きくプラスになれば増えると思う。取り組みもうと思えるほどには補助金が少ないと思う。
主食を上回る加工米の補助
主食米以外の作物を作付して管理する人や時間がないので加工米等で対応したいので補助金をあげてほしい。
主食より2倍以上の利益になれば減らしたい。ほぼ変わらないまたは少ない場合は手間をかけることができない（人手がない）
転作作物への交付単価を上げてもらいたい
転換作物の補助金が上がってコシヒカリを作るより得になれば良いと思います。
機械設備の補助を増やして欲しい
レンゲ、ヒマワリに対し8万~10万/10a
機械の補助。現状の機械でできる作物があるなら。
転換作物の単価を増やして欲しい
思わない。農業はもうからない
WCSを取り入れたいと思っているのですが、今年ことわられた。補助事業としてあるのに、刈取り機械がなく、増やせない。再生協の方で、だれでも取り組みできるようにしてもらいたい！
私は加工用米に取り組していますが主食米と比べて転作作物が最低限主食米同等であるならばもっと転作作物へ協力します
加工米の補助増額
主食用米の作付をするよりも有利と思える額の補助金があれば一考する可能性あり
刈取適期に合った品種があれば可
もち麦を栽培していますが、JA等で買い取りをしてもらえれば面積を増やしたいと思う。
減反政策から今日に至る水田活用に協力しない人は主食用米だけ作り続けると思います。差別するのではなく格差をつければ減ることはない。
転換作物に適応した環境づくり（水田の乾田化等）
新潟米の需要は高く、コシヒカリ以外の一般米の支援をお願いしたい。
もう少し転作の補助金を充実させないと転換できない
大豆の補助金を増やす
主食用米と同等以上の収入。手間のかからない作物

【どのような支援（補助金）があると、主食用米の作付けを減らしたい（転換作物の作付けを増やしたい）と思うか（支援対象作物や、支援内容について）】（2/2）

大豆、枝豆に対する補助金の増額
飼料用米の販売価格が0に等しいので価格が必要である。販売価格が安く検査料、運賃、手数料、保管料等が発生し、農家手取がなくなる。
取り組みやすい大豆への補助金の増額等
充分な所得補償
転作補助金の交付単価を上げて欲しい
近々初冬直播で種まき（いただき、こいいぶき）をする予定でそのような先進事例の補助金、機械の投資費用の補助金があると助かります。
主食用米と同等の転作単価（大豆に高額支援を望む。山間地は水不足と獣害に悩まされている）
大豆、枝豆に対する補助金が増えるならそちらを増やしたい。
転作作物の補助金の増額
水稲と同程度の収入が見込める補助額があれば転換作物と水稲をバランスよく作付けしたい
麦と大豆の補助金を考慮して欲しい
大豆、枝豆の補助金増額を望む。
主食用米と同等の補助金
主食用米の需要が多いため減らせない。離農した農家が元々出荷していた縁故米が多いので減らせない。
米を作るよりも、トータルで高収益
転換作物への補助金増額
加工米の交付単価上乘せ。麦、大豆の増収のための技術指導

【需要に応じた米生産について、国、新潟県、阿賀野市農業再生協議会に対するご意見（期待する支援や、改善を求める対応など）】（1/2）

園芸作物を作付する場合、機械のリース等があると取り組みやすい。あと園芸作物の技術指導等。
田から牧草地に転換する理由の1つとして現実的に水稻の作付けが難しいというのがある。（水が来ない、土質が悪い等）それなのにも関わらず5年毎に水稻というのは正直かなり厳しい。せっかく補助が出るとしても、まずその条件をクリアできないためという理由で諦める生産者が少なからずいるはずだ。まずはより一層生産者と積極的にコミュニケーションを取り連携を深めてほしい。
実際に作付を行っていないのに農業生産者として米の販売を行っていないのはおかしいのではないか。改善して欲しい。
離農者が多くやむなく受けているが機械の投資で精算が合わない。購入の際の補助金を受けることができないか。指導をいただきたい。昨年農林課で相談。難しく困っている。
主食以外の用途の加工米生産。水田としての活用を中心にしてほしい。
転作物（販売金額）+補助金（国、県市）=130,000以上にして頂きたい。（反当り）
何もせず、一度農家で競争させて見る。
国の政策による土地改良をやって欲しい。40代の後継者に作業と作業経営を継がせるため。
園芸作物を目標にしているのであれば機械作業機の導入に係る支援があればいい。
麦、WCS、飼料作物はやりたい。個人で機械投資はできないので、JAや受託組織の体制も必要だと思います。作りたいがJAなどに相談しても「おすすめできない」と回答されたので取り組みたくないのですが、機械投資ができない以上は、JAや受託組織の取組みに左右されてしまいます。個人的には、麦、WCS、飼料作物等は市をあげて取り組んでも良いと思います。受託組織もしっかりとした報酬があれば生産者もしっかりと参加すると思います。補助金額の説明だけでなく、阿賀野市で何が作付けできて、どう収穫できて、どこに出荷できるなど具体的なアプローチが欲しいです。播種から収穫までしっかりとした体系化が出来ていれば取り組みは増えると考えます。
ほ場整備を最優先に！
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 多収米の生産をやめる</li> <li>2 山間部の水田を畑地化</li> <li>3 至急のほ場整備対応</li> <li>4 例えば、コシを一般出荷7,000円/30kg補助0=7千円 米粉用1千円/30kg補助6.5千円=7.5千円 飼料用500円/30kg補助7千円=7.5千円など専用品種を新たに作るより始めやすい。</li> <li>5 人手不足なので直播への技術指導も必須</li> <li>6 水稻の面積が増えると転換面積を作る手間も人手もない=無理</li> </ol>
耕作面積の少ない農業者は、全々転作していないそういった農業者に何かペナルティーのような事をしてはどうか。
米単価損益分の補填をお願いしたい
湿田を乾田化するための転作物を提案して欲しい。千刈地区で大豆転作をしたいが、作業受託側から断られているので別の方法で乾田化できればと考えている。補助事業の検討をお願いしたい。
機械や設備に対する補助。
米の等級がJAより商系の方が緩かったと思う
転作しても単年や5年などの短い補助金ではその後の補助金支援や価格保証がなされなければ転作するメリットがない気がする。
転作しても今後農機具などを買ってやっていく！そして転作したものだけで経営ができる。補助金なしで経営ができるくらい作物単価が上がらないとなかなか転作+補助金でやっていくのは厳しいので、価格を補償してもらいたい（基準単価を上げる）
また機械の購入にかかる補助金を出してもっと転作できるハードルを下げてもらいたい（個人は厳しい）
米の単価が安のに、補助金は低いので、他の作物は作られないので、災害がつづく場合はとうてい作付はできない。
主食用米を減らした農家には、手厚く補助金を付けてほしい！
基盤整備をしないと何も始まらない
米価決定の際、生産者の意向を確認して欲しい。

【需要に応じた米生産について、国、新潟県、阿賀野市農業再生協議会に対するご意見（期待する支援や、改善を求める対応など）】（2/2）

補助金を上手に活用すればよいか分からない。

需要に応じた米生産に取り組んではたして農家の所得が確保できるのか？どの農家でもそうだが、収穫した米はすべて出荷出来ている。その状態で米が余っているといわれても実感がない。余っているのであれば、そもそも買い取らなければいいのではないか。必要な量の米を適正な価格（生産費を確実に保証する価格）で買いとって欲しい。そうすれば、必然的に農家も考えるのではないかと思う。